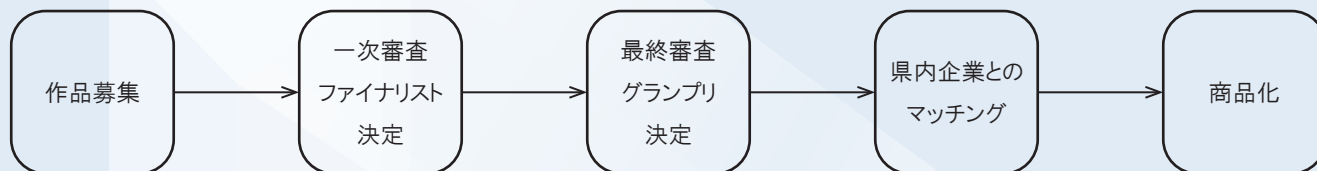


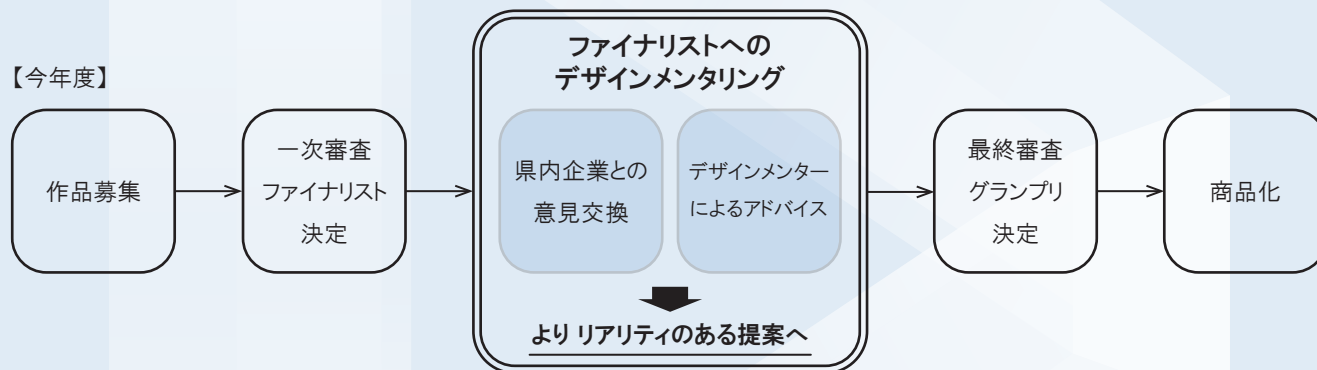
### ■ デザインメンタリングの目的としくみ

これまで富山デザインコンペティションでは、グランプリ決定後に作品の商品化に興味を持つ企業とマッチングし、商品の開発やプロジェクト化を推進してきました。今年度は商品化・プロジェクト化をさらに意識して、テーマ企業の担当者と意見交換やデザイン有識者（デザインメンター）による作品アドバイスなどの「デザインメンタリング」を新たに導入します。富山デザインコンペティションではファイナリスト（1次審査通過者）に対するサポート体制を強化することで、リアリティあるより良い提案が生まれやすい「新たなデザインコンペのあり方」を探っていきたいと考えています。

【昨年度まで】



【今年度】



### ■ デザインメンター プロフィール



#### 河崎 圭吾

金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻 教授

金沢美術工芸大学卒業。NEC / NEC USA .inc. 勤務。渡米中は研究員として Whipsaw Inc. に勤務。シリコンバレーの動向調査や北米をターゲットにした商品開発に従事。2010 年より現職。毎年六本木 AXIS ギャラリーにて展示発表。「IoTのつくり方」(2017)「これからのエンターテインメント」(2018-2019)「Visionary thinking」(2020) 受賞歴: 「Roku Soundbridge Radio」CES Innovations '06 IF 賞。「Weather report」IDEA 金賞。「Plasma-X」G マーク金賞。「SX-4」G マーク大賞。「Voice Point」IF 賞 NY 近代美術館パーマネントコレクション選定。その他国内外の受賞歴多数。



#### 有田 行男

富山大学 芸術文化学部 准教授

1996年に神戸芸術工科大学 大学院卒業。京セラ株式会社、日本電気株式会社にてケータイやスマートフォンのデザイン、商品企画、事業マネジメントに関わる。デザインの実務とともに商品企画部長としての経験を基に、デザインマネジメント・コミュニケーションデザイン・プロダクトデザインを主な専門領域とする。2014年以降は活動の拠点を富山県高岡市に移し、デザイン教育と地域のデザインに取り組む。グッドデザイン賞については、デザイン実務時代の受賞とともに、学生の卒業制作を含めたデザイン教育と地域のデザイン活動においても受賞。



#### 岡 雄一郎

富山県総合デザインセンター デザインディレクター

金沢美術工芸大学 工業デザイン学科卒業。NEC (1989-1997)、AISIN (1997-2016) でデザイナー、ディレクターとして勤務。2016年にTUG DESIGN Inc. を設立。企画から製品デザイン、プロモーションまで総合的なデザインを手がけている。現在、富山県総合デザインセンターのデザインディレクターとしても従事。主な受賞歴: Milano Design Award 2016 Best Engagement by IED (イタリア)、iF Design Award (ドイツ)、RedDot Design Award (ドイツ) German Design Award (ドイツ)、Design For Asia Award (香港)、Good Design Best 100 (日本) など。